

1 目的

(1) 指導力向上

特別の教科「道徳」の実施に向けて、道徳の指導力の向上を図ります。

(2) 豊かな人間性の育成

生徒一人一人が互いに認め合い、尊重し合い、共感し合って温かい人間関係をつくろうとする心の育成を図ります。

(3) キャリア教育の推進

勤労体験学習に向けての事前・事後学習を行いキャリア教育の充実を図ります。

2 内容

(1) 指導力向上

ア 道徳の指導力向上のために、中村浩二氏（名城大学教職センター特別講師）を講師に招き、現職教育（10/23、11/19、1/11）を実施しました。

イ 国語の授業力向上のために、相村明人先生（元津島市立神守中学校長）講師に招き、指導助言をいただきました。（1/15）また、要点をまとめる力と、聞き取る力を養うマインドマップ講習も実施しました。（2/25）

ウ 特別支援教育を理解するために、長谷川修三先生（元津島市立南小学校）を講師に招き現職教育を行いました。（3/8）

(2) 豊かな人間性の育成

ア 生徒が学校行事で人々に感動を与え、達成感を味わうこと、さらに教師が専門的な指導にふれることで教科指導のスキルアップをするために、照喜名純子様（照喜名一男奥様）を講師に招き、合唱指導（9/8、2/12）を実施しました。また、卒業式に向けての合唱指導を行いました。（2/27）

イ 命の大切さや尊さを知り、自分や他人を大切にしようとする心の育成を図るために、伊藤幸子氏（名古屋医専教務部主事）を講師に招き、命の授業（12/11・12）を実施しました。

ウ 互いに認め合い、尊重し合う心の育成を図るために、岡田達信氏（絵本セラピスト協会代表）を講師に招き、人権講演会（12/7）を実施しました。

エ 思春期の生徒に向けた講座を、丹羽咲江先生（産婦人科医）に3年生を対象に講座を実施しました。（2/28）

(3) キャリア教育の推進

ア 勤労体験学習（2年生）の事前学習として、朝倉奈津江氏（研修インストラクター）を講師に招き、マナー講座（10/16、10/17）を行いました。



伊藤幸子先生による
命の授業

3 評価

(1) 指導力向上

ア 毎年、学校評価アンケートの結果を見ると、教師・生徒共に道徳の授業に対する意識が低く、取組も十分ではありません。また、保護者の学校評価アンケートの結果もポイントが低くなっています。そのような中、新学習指導要領では、道徳教育の充実が叫ばれています。昨年度に引き続き、中村先生に道徳の取組に対する意識や基本的

な授業の進め方を教えていただき、教師たちは、道德の授業への意識を高めることができました。教えていただいたことをもとに、授業に取り組む教師もいました。学年で一つの指導案を作成して実践し、振り返る姿も見られました。次年度以降も引き続き、中村先生を講師に招き、道德の授業の実践に努めていきたいと考えています。

(2) 豊かな人間性の育成

ア 照喜名純子先生の指導はたいへん熱心で、少しでも子ども達の良さを引き出そうと一生懸命に指導をしていただきました。合唱指導を受けた生徒達は、学校祭の合唱で、調和のとれた歌声を披露し、聴く人に感動を与えることができました。特に、毎年の積み上げが3年生の素晴らしい合唱となって成果が上がっています。本年度の学校評価の保護者意見にも、合唱のすばらしさや、上手だという意見も多く寄せられました。また、指導していただいたことは、日々の授業でも成果が出てきているようで、授業参観などでも、参観していただいた保護者から、「学校祭や卒業式の歌声が楽しみです。」と期待の声をいただきました。自信をもって歌う姿から、少しずつではありますが、合唱を通して自己肯定感を高めることができていると感じています。

イ 「命の授業」は、毎年1年生を対象として行っています。伊藤先生の指導は大変丁寧でわかりやすく、子どもたちに命の大切さや生命誕生のすばらしさを教えてくれます。また、助手として多くの学生を連れて指導に当たっていただいています。生徒の感想では、「生まれてきたことは奇跡で、すごいことなんだと改めて思いました。」「今回の授業で自分の特別さを気付けた気がしました。」など、命を大切にしようとする声が聞かれました。また、自分や他人を大切にする気持ちを育てることができたようです。

ウ 『絵本で体験「同じ」と「違う」』

絵本セラピスト協会代表である、岡田達信氏による人権講演会を行いました。全校での絵本の読み聞かせを中心に、リズムカルな歌ももりこみ、スクリーンに映された絵本と、表現豊かな先生の読み聞かせによって、まわりの仲間と共有することの大切さを教えていただきました。また、自分の意見をしっかりと、ひとりひとりが、みんなちがっていることを認めあうことの大切さも全校生徒に問う、講演会となりました。



岡田達信氏

(3) キャリア教育の推進

ア 朝倉先生による勤労体験学習に向けてのマナー講座で学習したことは、日常生活の随所で生かされています。また、3年生になってからの高校見学の際にも役立っています。専門の講師から学ぶマナーの基本は、中学2年生の生徒達にとって初めて知る内容が多く、意義深い体験の場となりました。さらに、教師にとっても、自身の言動や日頃の指導方法を見直す良い機会となりました。

4 課題

保護者や生徒、地域からの信頼を得るためには、教育活動のさらなる向上や発展を目指さなければなりません。特色ある学校づくり推進事業により、生徒はさまざまな取組を通して体験から学ぶ機会が増えました。今後は、学んだことを活用する場や学びを通して、自己の成長が実感できる振り返りの場などを工夫し、さらに生徒の自己肯定感を高め、主体性と伸ばしていくことが課題と考えます。

次年度以降も引き続き、「当たり前が当たり前のできる生徒・教師」をキーワードに、全職員が力を合わせ質の高い教育活動を展開していきたいと考えています。